

中央発條株式会社

証券コード：5992

CHUHATSU
CHUO SPRING CO.,LTD.

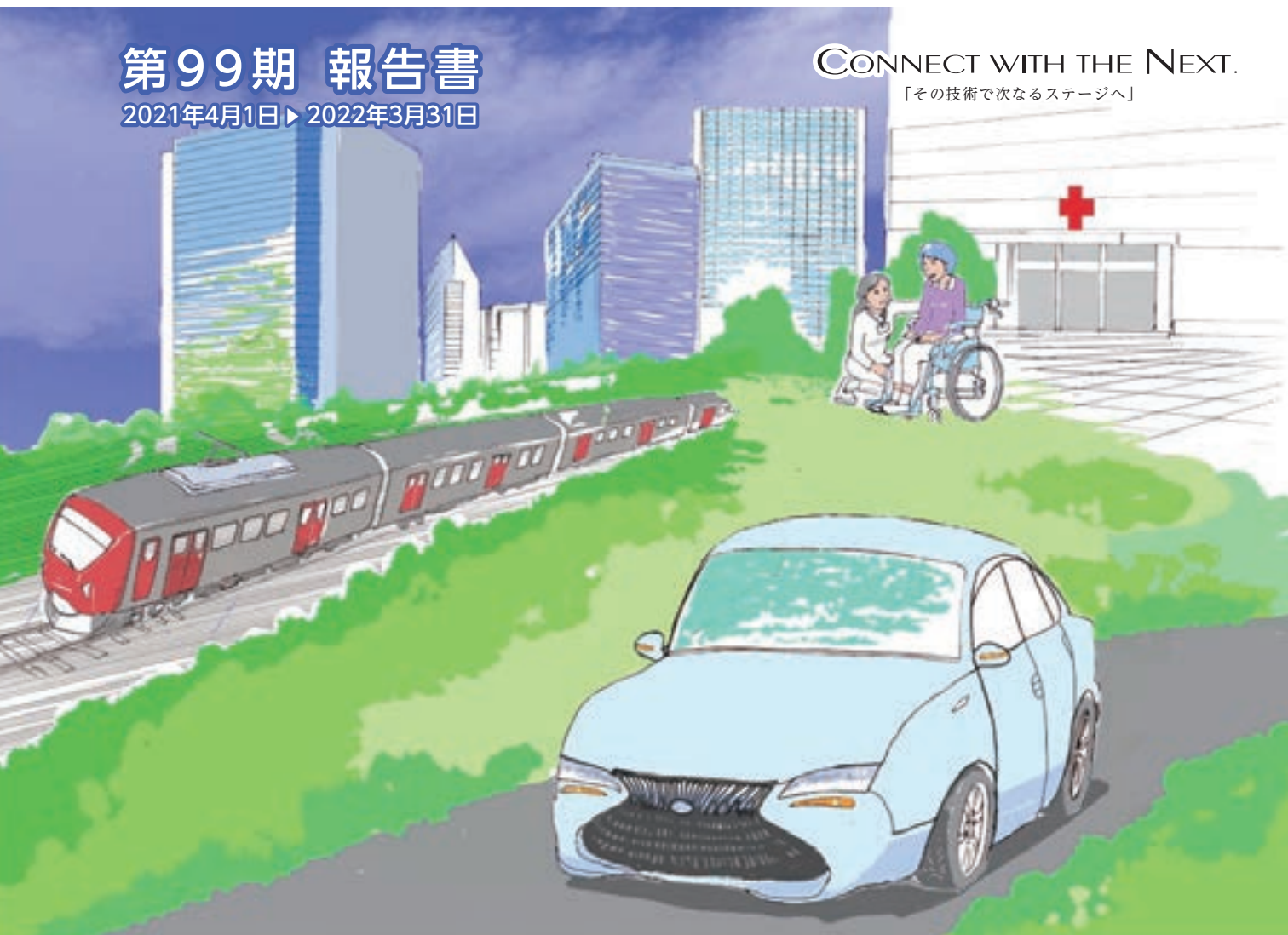


第99期 報告書

2021年4月1日▶2022年3月31日

CONNECT WITH THE NEXT.

「その技術で次なるステージへ」



技術と情熱が創り出す価値ある商品を未来へ世界へ

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第99期報告書をお届けするにあたり謹んでごあいさつ申し上げます。



新代表取締役社長
小出 健太



前代表取締役社長
高江 暁

Q1

業績を含めた2021年度の 振り返りをお願いします。

高江 主要なお客様の生産台数の増加による増益要因に対し、想定を大きく上回る鋼材・物流費の高騰、資材費および動力光熱費の価格上昇などのインフレ圧力がありましたが、全社一丸となった過去最高レベルの合理化改善により、営業利益は前年度に比べ増益となりました。

また経常利益につきましては、営業利益の増益幅を上回る増益となり、過去最高益となりました。これは2021年度末の為替レートが2020年度末に比べ、大きく円安方向に振れたことが主な要因です。当社はこれまで安定した収益確保に加え、有利子負債の圧縮を基盤とした財務体質強化施策の計画的な推進により、自己資金によるグローバル資金体制を構築してまいりました。その結果、2021年度には為替が円安方向に振れたこともあり、自己資金分の評価換算差益が大きく営業外のプラス収益方向に寄与し、経常利益の増益につながりました。

Q2

2022年度の見通しについて 教えてください。

小出 2022年度の見通しにつきましては、主要なお客様の生産台数は未だ不透明な部分はあるものの、2021年度に比べ増加すると予想しております。しかしながら、更なる鋼材・物流費の高騰、資材・動力光熱費の価格上昇が続くと考えられ、生産台数増による増益効果が打ち消され、収益的には厳しい環境が続くと予想しております。

当社といたしましては、それに対応するべく更なる全社

総費用原価改善施策を推進することにより、公表通りの増収、営業利益増益計画の達成を目指します。

一方、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2022年度の想定為替レートが若干円高方向に振れる前提にたち、2021年度実現した大幅な円安による営業外増益効果が消滅することから減益予想としております。

このような理由により、業績見通しにつきましては、売上高890億円（対前期比8.3%増）、営業利益23億円（対前期比25.9%増）、経常利益27億円（対前期比21.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益16億円（対前期比11.2%減）を計画しております。

Q3

最後に株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

高江 このたび、2022年6月16日付で代表取締役社長を退任し、後任の社長には現在代表取締役副社長の小出健太が就任することを決定いたしました。

2015年に就任以来、グループを挙げて生産性向上に取り組んでまいりました結果、稼働人員1,000人ほどの工数削減による労務費・稼働費の改善をいたしました。加えて歩留まり・スクラップ低減や世界最適調達による原材料費改善および固定費の変動費化などの総費用低減活動の結果、損益分岐点の引き下げを実現いたしました。在任中には、当社を取り巻く様々な環境の変化がありましたが、それに対処していく過程で、フレキシブルに対応できる体制をいかに築くかということの大切さを認識いたしました。今後小出新社長のもと、より強靱な体制を築いていけるも



のと信じております。なお2021年度についても、新型コロナウイルスの感染拡大等の逆風がありましたが、公表以上の利益を確保し、経常利益は過去最高益を更新することができました。これもすべてのステークホルダーの皆様のご支援があつてこそです。ありがとうございました。

小出 このたび、代表取締役社長に就任することとなりました、小出です。前社長である高江が7年間で築いた強固な収益基盤を継続・定着させ、より一層の発展に努めていくことが私の責務であると認識しております。一方で自動車業界の大変革期に対応し、今後も引き続き「中発Global Vision2025」の達成に向け、製品の高付加価値化、主要なお客様の電動化戦略に対応したEV・FCV対応製品の拡充、およびカーボンニュートラル施策等社会的ニーズに応えるべくSDGs化を積極的に推進してまいります。

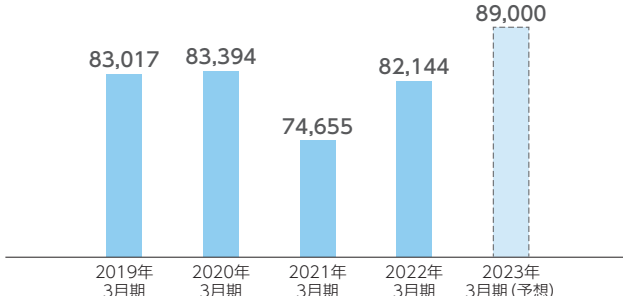
当社はこれからもモノづくりを通して社会に貢献するとともに、すべてのステークホルダーから愛される会社づくりに取り組んでまいりますので、今後とも皆様の変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

決算概要・連結業績ハイライト

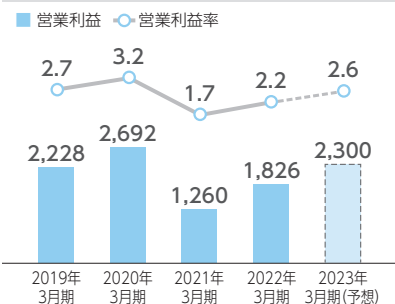
連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	2022年3月期	2021年3月期
売上高	82,144	74,655
営業利益	1,826	1,260
経常利益	3,434	2,258
税金等調整前当期純利益	3,410	2,532
親会社株主に帰属する当期純利益	1,801	1,248

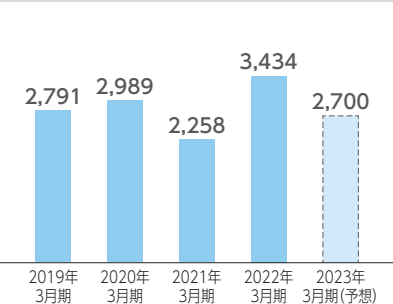
売上高 (単位:百万円)



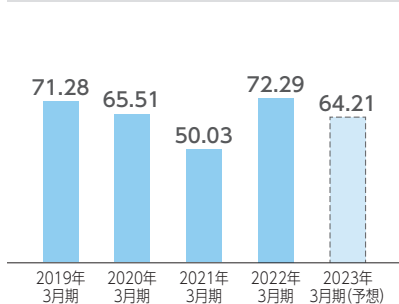
営業利益 (単位:百万円) / 営業利益率 (単位:%)



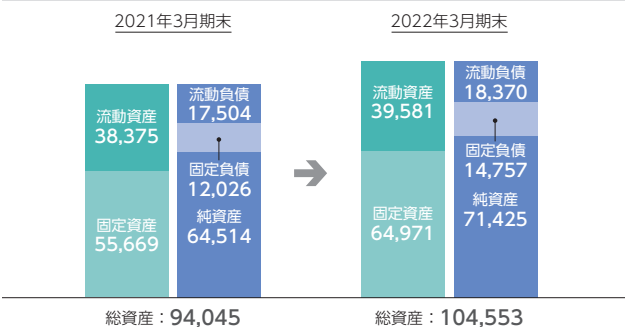
経常利益 (単位:百万円)



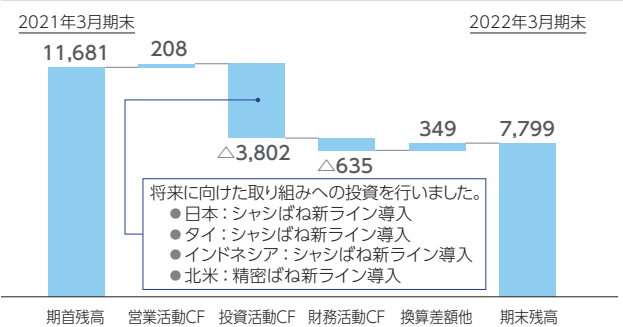
1株当たり当期純利益 (単位:円)



連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)



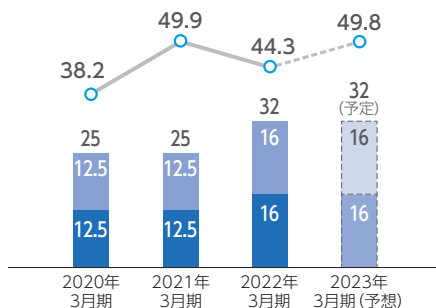
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)



(注1) 2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。
(注2) 換算為替レート 2022年3月期: 122 / 2023年3月期 (予想): 120
(注3) 経常利益・1株当たり当期純利益につきましては、想定為替レートが当年度末より若干円高方向に振れる前提にたち、当年度実現した大幅な円安による営業外増益効果が消滅することから減益予想としております。

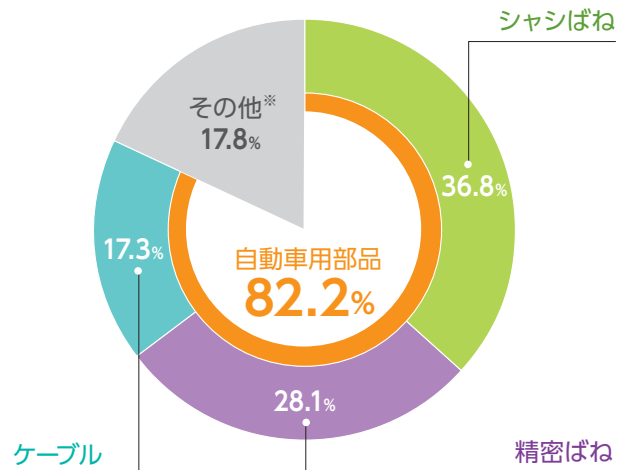
1株当たり配当金 (単位:円)

■ 中間期 ■ 期末 ○ 配当性向 (%)



(注) 2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり配当金」を算定しております。

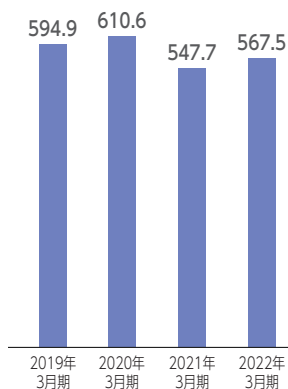
製品別売上構成



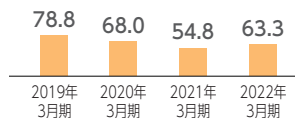
※その他には自動車用品・建築用部品他を含んでおります。

地域別セグメント売上高 (単位:億円)

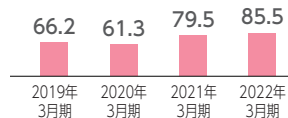
日本



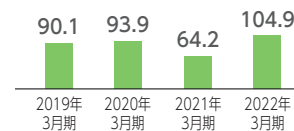
北米



中国



アジア



TOPICS

● シャシばね新規受注品生産開始



写真提供：マツダ株式会社様

※写真については、マツダ株式会社様の利用合意を受けているため、他への転載、転用を一切禁ずる

マツダ株式会社向けシャシばね新規受注に合わせラインを新設し、本年1月に生産を開始いたしました。

またタイのCHUHATSU (THAILAND) CO., LTD.においても本田技研工業株式会社へのシャシばね新規受注を獲得し、昨年10月に生産を開始しております。

今後も引き続き「中発Global Vision2025」達成に向け、現状の取引先はもとより、新たな取引先からの新規受注分に加え、更なる拡販を進めてまいります。

TOPICS

● カーボンニュートラルの取り組みについて



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



13 気候変動に
適応する

関連するSDGs

当社はカーボンニュートラルに向けて2030年CO₂削減46%(対2013年度比)を目標に、環境に優しいモノづくりを目指しております。取り組みの一環として製品開発・工法開発の実用化を進めております。

製品開発

① 材料開発の取り組み

- 熱処理の不要な材料の開発

↓
高温加熱炉の廃止

② 塗料開発の取り組み

- 低温で焼付できる塗料の開発

↓
高温焼付炉の廃止

工法開発

① 加熱エネルギー転換

- 低炭素エネルギーに転換
- 環境負荷の低い通電加熱の使用拡大

② 既存技術を発展させた新工法の開発

- 大型炉の廃止
- 加熱レス加工の拡大



低CO₂ 排出ラインの実現

TOPICS

● “人財育成” 取り組みについて

当社は、自ら考え行動することのできるクリエイティブ人財、およびグローバルで活躍できる人財の育成に努めております。人財育成の一環として、当社海外拠点での研修を通じコミュニケーション能力から現地の慣習・風土にフレキシブルに対応できる能力を養う若手社員育成出向制度を実施しております。

2021年10月には「健康経営宣言」を策定し、本年3月9日に健康経営優良法人2022（大規模法人部門）に認定されました。今後は健康経営優良法人の中でも最上位とされるホワイト500認定を目指してまいります。従業員が今後も健康であり続け、よりフレキシブルに安全・安心な職場で働くことができる環境づくりに取り組んでまいります。



人財育成



若手社員育成出向制度
(CHUHATSU NORTH AMERICA, INCにて)

働き方改革



TOPICS

● 東証新市場区分「プライム市場」へ移行

当社は、2021年11月24日開催の取締役会において、東京証券取引所の新市場区分として「プライム市場」を選択、申請することを決議し、2022年4月4日「プライム市場」へ移行いたしました。

今後より多くの投資家様の投資対象となるべく、より高いガバナンス水準を備え、タイムリーにわかりやすい情報開示に努めてまいります。今後とも持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指してまいりますので、皆様の変わらぬご支援を宜しくお願いいたします。

会社概要

設立	1948年12月25日
資本金	108億3,720万円
従業員数	連結：4,302名 単独：1,435名
製品区分	自動車用部品 (シャシばね、精密ばね、ケーブル)、 その他 (自動車用品・建築用部品他)
本社所在地	〒458-8505 名古屋市長区鳴海町字上汐田68番地 電話 (052) 623-1111 (総合案内)
主要な事業所	本社工場 (名古屋市長区) 碧南工場 (愛知県碧南市) 三好工場 (愛知県みよし市) 藤岡工場 (愛知県豊田市) 技術センター (愛知県みよし市) 東日本営業所 (栃木県塩谷郡高根沢町) 西日本営業所 (大阪府吹田市)

役員 (2022年6月16日現在)

※取締役社長	小出 健太
※取締役執行役員	米倉 浩司
取締役執行役員	矢澤 文希
●取締役	安田 加奈
●取締役	山本 光子
常勤監査役	間瀬 実
◆監査役	山本 秀樹
◆監査役	近藤 禎人
◆監査役	中村 元志
補欠監査役	稲垣 昭弘
執行役員	鈴木 聡
執行役員	宮原 浩一
執行役員	宮田 征典
執行役員	北浦 啓一
執行役員	桑 唯史

(注) ※ 代表取締役 ● 社外取締役 ◆ 社外監査役

関係会社

国内 10社	愛知県	中発運輸株式会社 株式会社東郷ケーブル 株式会社セプラス 中発精工株式会社 中発販売株式会社 株式会社リーレックス
	岐阜県	株式会社岐阜中発
	静岡県	株式会社エフ.イー.シーチェーン
	長崎県	株式会社長崎中発
	青森県	中発テクノ株式会社

海外 10社	米国	CHUHATSU NORTH AMERICA., INC
	台湾	中發工業股份有限公司
	タイ	CHUHATSU (THAILAND) CO., LTD.
	インドネシア	PT. CHUHATSU INDONESIA
	中国	天津中発華冠機械有限公司 天津中星汽車零部件有限公司 天津隆星彈簧有限公司 昆山中發六和機械有限公司 昆山中和彈簧有限公司 孝感中發六和汽車零部件有限公司

事業内容

当社グループは、次の製品の設計開発、製造および販売を主な事業としております。

シャシばね

足回りに使用されるばね



スタビライザ



コイルばね

コントロールケーブル

レバー操作を遠隔伝達させる役割



パワースライドドアケーブル

精密ばね

座席のリクライニング用ばねや電装部品保持用ばね等、幅広く採用されている



渦巻ばね



EV/PHEV
バッテリーモジュール
締結部品

その他

住宅用部品、鉄道部品なども手掛けている



キャブレックス



レールクリップ

2022年6月16日(木)開催の当社第99回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されました。

報告事項

1. 第99期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第99期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

決議事項

第1号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第2号議案 取締役5名選任の件

本件は、原案どおり取締役に小出健太、米倉浩司、矢澤文希、安田加奈、山本光子の5氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、安田加奈および山本光子の両氏は社外取締役であります。

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案どおり補欠監査役として稲垣昭弘氏が選任されました。

第4号議案 社外取締役の報酬額改定の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

新任取締役ご紹介



6月16日開催の株主総会において新任代表取締役社長として小出健太氏、新任代表取締役として米倉浩司氏、新任取締役として矢澤文希氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

高江前社長が築かれた強固な収益基盤を継続・定着させ、より一層の発展に努めてまいります。

新任代表取締役社長 **小出 健太氏**

略歴

1983年4月	トヨタ自動車株式会社	入社
2013年1月	トヨタ プジョー シトロエン	オートモービル チェコ有限会社 取締役社長
2017年1月	当社	顧問
2017年6月	当社取締役	常務執行役員
2018年6月	当社専務取締役	
2020年6月	当社代表取締役	副社長
2022年6月	当社代表取締役社長	現在に至る



新任代表取締役 **米倉 浩司氏**

担当：調達・営業

略歴

1987年4月	当社	入社
2018年6月	当社	執行役員
2019年4月	PT. CHUHATSU INDONESIA	社長
2022年4月	当社執行役員	調達本部長 営業本部長
2022年6月	当社代表取締役執行役員	現在に至る



新任取締役 **矢澤 文希氏**

担当：経営管理

略歴

1989年4月	トヨタ自動車株式会社	入社
2013年1月	トヨタプジョー シトロエン	オートモービル チェコ有限会社
2019年1月	当社総合企画部	部長
2021年4月	当社執行役員	総合企画部 部長
2022年6月	当社取締役執行役員	現在に至る

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	電子公告 ※決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）にて開示しております。
株主名簿管理人（連絡先）	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
単元株式数	100株
証券コード	5992
上場取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所

ホームページのご案内

当社に関するより詳細な情報については、当社ホームページをご覧ください。企業活動や製品に関する情報など、幅広く情報を提供しております。またIR情報ページには、業績ハイライトやこれまでの決算短信を、CSR情報ページには環境への取り組みなども掲載しております。

<https://www.chkk.co.jp/>



▲トップページ



▲IR情報ページ



▲CSR情報ページ